



特集：発進！発信！
鳥取県地球温暖化防止
活動推進センター

とっとりエコサポーターズ養成講座（西部会場）
グループワーク「低炭素のまちづくり」

第1期とっとりエコサポーターズ に聞く 「わたしのきっかけ」

鳥取県地球温暖化防止活動推進センターは、県内の温暖化防止活動を様々な面からサポートし、一層活性化させることで低炭素社会をめざすことを目的に活動するセンターです。

2010年6月に鳥取県知事より指定され、鳥取環境大学の協力のもと活動を始めました。

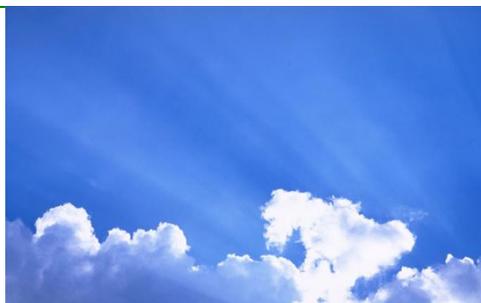
鳥取県地球温暖化防止活動推進センターの活動は、国や県、県内の様々な団体や個人の会員の皆様などのご支援によって支えられています。



とっとりエコサポーターズ養成講座（東部会場）修了式

発信！ 発信！

特集：鳥取県地球温暖化防止活動推進センター



■ ■ 元気な地域と未来のために ■ ■ ■ ■

鳥取県地球温暖化防止活動推進センター

センター長 岡崎 誠（鳥取環境大学 副学長）



私たちの日本は、今までに実に多くの公害問題・環境問題を経験して来ました。足尾銅山鉱毒事件、水俣病事件、イタイイタイ病事件、四日市ぜん息事件、自動車排ガス問題、ダイオキシン問題などなどです。被害者救済などで一部未解決のものもありますが、科学的な原因究明、対策技術の研究開発など先人の努力により一定の解決をみてきました。

ところが、この地球温暖化問題・気候変動問題は、今までに私たちが遭遇した問題の中でも極めて強敵です。現在のところ歯が立たない状況です。環境問題だけでなく、経済問題、外交問題、エネルギー問題、食糧問題などにも深く関係し、21世紀前半の世界の最重要課題の一つと位置づけられるものです。

一方では、世界に誇る日本の科学技術の力をもってすれば、近い将来に太陽光・風力発電、蓄電池、燃料電池、バイオ系燃料などの分野で画期的な技術開発がなされ、現在の生活スタイルを維持したままで容易に地球温暖化問題が解決されるだろうという見方も無いわけではありません。この可能性はまったく否定できるものではありませんし、むしろそのような展開にな

ることを願うものです。しかし残念ながら、現在までその実現の見通しは立っていません。

このような状況の中で、現在の技術を前提に考えた場合、地球温暖化対策を進めていくためには、私たちの日々の生活スタイルを変えていくことが求められます。豊かで便利な暮らしに慣れてしまいますと、不便になる方向に改めようとするのは容易ではありません。そこで20年、30年かけて少しずつ対策を進めていくしかありません。かといって、私たちは、地球温暖化がどんどん進んでいくような地域・社会をつくり上げ、そしてその地域・社会を残したまま、将来の世代に引き継ぐような無責任なことは出来ません。

「私たちの地域は私たちが守る」というのが世界の常識です。今やためらっている場合ではありません。また、気の利いた評論を展開する時期も過ぎてしまいました。一緒に身体を動かし、汗を流しましょう。その中から、地域の未来に明るい光が見えてくると思います。



■ ■ 鳥取県地球温暖化防止活動推進センターとは？ ■ ■ ■ ■

地球温暖化防止活動推進センターは、「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づき、地球温暖化防止に関する啓発・広報活動、活動支援、調査・研究活動等を行うことを目的に各都道府県に設置されています。

鳥取県センターは、2010年6月に鳥取県知事より指定を受け、活動を開始しました。

地球温暖化防止に向けて、人や組織が連携しながら鳥取県にふさわしい低炭素社会の実現を目指して様々な取組を行っています。

低炭素社会のデザイン

鳥取県にふさわしい低炭素社会について研究します。

また、低炭素社会の実現に取り組む様々な人や団体が参画できる場やパートナーシップづくりのお手伝いをします。

 エコライフ研究

 エコ端会議

情報発信・情報交流

ホームページ、ニュースレター、プレスリリース、セミナー、シンポジウム、ワークショップなどを活用して、低炭素社会の実現に求められる情報を発信するとともに、様々な人・組織間の情報交流の促進を支援します。

アドバイス

エコライフ相談窓口を設け、家庭の省エネ診断や温室効果ガスの排出削減アドバイスを行います。環境教育実践の手法や連携方法についてのアドバイスや支援も行います。

人材育成

低炭素社会の実現に向けて活動を推進する人たちに必要とされる知識や技能を身につけるための研修や、カリキュラム、プログラムの開発・提供を行います。

 とっとりエコ
サポーターズ養成講座

 環境教育プロデュース

レポート： 第1期とっとりエコサポーターズ 養成講座 「わたしのきっかけ」



「とっとりエコサポーターズ養成講座」には、東・西部の2会場に62名の方が集まり、研修を受けられました。

今回の特集では、何名かのサポーターズみなさんに「エコサポーターズになろうと思ったきっかけ」について伺い、鳥取県の地球温暖化防止活動を地域から盛り上げる可能性に迫りたいと思います。

- ①「とっとりエコサポーターズ」になろうと思ったきっかけは？
- ②研修会に参加していかがでしたか？
- ③今後の「とっとりエコサポーターズ」としてどのような活動を行おうと思いますか？

①地域のために、何か役に立ちたいと思ったので。
②生活に身近な問題が多いのに驚きました。大変参考になりました。
③勉強会を通して正確な知識を学び広める方法を模索したい。
(林 武雄さん)

①次代を担うこともたちやその保護者、地域の多くの皆様と環境を基軸にした街づくり活動を推進中で、地球温暖化防止についてより多くを学び、学んだことを彼らと一緒に共有し、実践活動を展開したいと思って。
②多くの事を学んだので、テキストを基に、知見レベルを高めるために学習中です。
③こどもたちとのエコ活動で紹介し、身近にできる環境改善活動を実践する。自治会、婦人会、公民館学習会でも紹介しCO2削減の具体的な行動について共に学び合いたい。「小さな積み上げ 大きな成果」を継続させる。「地球規模で考え、地域発の行動」を基本的なスタンスに活動を行っていきたい。(向井 哲朗さん)

①環境に関する情報収集とエコ活動のネットワークを広げたいと思ったので。
②専門的な知識や技術が学べ、いろいろな立場の方と出会わせていただき、刺激を受けました。皆さんがいかに熱心に活動しているか知ることができ「自分でもやってみよう」という元気をいただきました。(北原 敦子さん)

①全人類の課題なので、次世代にとって良い環境を残せるようにと。
②良い知識を得たと思いました。自分一人ではダメでも、家庭から家族ぐるみで行動を、と改めて感じました。
③早速、町長と話をしました。行政と一緒に、温暖化防止を実行しようと思います。(綿谷 宏永さん)

①アル・ゴアの「不都合な真実」を観て、本気でエコ及び環境を考えるべき時が来たと思っていましたが、なかなか実行できずにいました。この9月に初孫が生まれます。チャンス到来！と思って参加しました。
②ほんやりとしていたいろいろな言葉の意味や仕組みがはっきりとし、また、県の取組も教えていただいたことがありがたかったです。
③できれば、公民館等に声をかけて子どもを持つ母親に訴えて行くことが第一歩ではないかと思っています。その他に、勤務先の消費生活センターの講座でも部分的に組み入れることができるようにしたいです。(名島 ゆかりさん)

①近年の気象は私の子どもの頃とは異なり明らかに異常。CO2の排出を抑えることは次世代に引き継ぐ我々の務めと考えて。
②勉強は大変難しかったが、ワークショップは雰囲気や和やかで楽しめました。
③出来ることからやっつけていこうと思います。
(玉川 雅草さん)

①レスター・ブラウンやレーチェル・カールソンの大ファンだったということもあり、環境問題には、関心を持っていました。食育・子育て支援等、色々な活動をする中で、一度自分自身の為にもきちんと講座で学んでみたいと思ったのがきっかけです。
②とても分かりやすく教えていただけてよかったです。ワークショップは、皆様の意見がすっきりまとめられて興味深かったです。
③食育・子育て等のボランティア活動をしているので、若いお母さんたち、子どもたちからお年寄りまで幅広い方と一緒に学ぶ活動をしていきたいです。
(山崎 美穂さん)

①数年前に産業廃棄物「破碎」技術管理工の資格を取りましたが、生活に生かし切れていないので、エコ活動に生かそうと思って。
②家庭でのエコの必要性が十分自覚できました。
③地域の廃棄物問題等検討していきたい。
(山根 信子さん)

①地球環境があまりに劣化している現状を何とかしなければならぬ。誰かが率先して課題を提起しなければとの思いから。
②あっという間に時間がたつくらい楽しかったです。第1日目は米子、2日目は鳥取に参加して、地域性なのか雰囲気が違い、環境問題への取組のスピード感も違うかな、と思いました。
③地元自治会、自治公民館、勤務先、わが家への働きかけ。
(藤井 忠篤さん)

①次世代に少しでもクリーンな環境を残したくて。
③あまり欲張らず、近所や公民館で伝えていけたら。一人の力は小さいけれど大勢で取り組めば少しは良くなる。今、活動している子どもエコクラブでも伝えたい。
(藤井 協子さん)

それぞれの方が、日頃から抱いていた環境問題に対する強い課題意識を解決するため、行動に移す場としてエコサポーターズ活動に取組みたいと考えていることが分かりました。第1期エコサポーターズの方々のこの熱意は、温暖化防止は難しいと考えていた人々も巻き込み地域を元気にしながら活動を盛り上げることに繋がると確信しました。それが鳥取県を低炭素社会へ導く道しるべとなるのだと思います。



グループワーク
「エコ×エコ座標軸」(西部)

活動・イベント予定

■4月15日(金)13時～

サスティナビリティ研究所
開所式(鳥取環境大学)

■5月21日(土)10:00～

エコ端会議 in 西部(米子
市文化ホール第1研修室)エコ
サポーターズの学習会です。

■5月22日(日)10:00～

エコ端会議 in 東部(鳥取環
境大学)エコサポーターズの
学習会です。

■5月28日(土)29日(日)

第2期とっとりエコサポー
ターズ養成講座
(倉吉交流プラザ)

■6月12日(日)

米子市エコフェスタ

■6月25日(土)

とっとり環境デー
(東郷湖周辺)

お知らせ

■ホームページには、最新の予定
など掲載しています。「鳥取県地
球温暖化防止活動推進センター」
で検索を。

■お知り合いの方などに「第2期
とっとりエコサポーターズ養成講
座」の受講をお勧めください。



【PR】NPO法人「ECOフューチャーとっとり」の
活動を支えてくださる会員を募集しています。

入会費 正会員 0円(当面の間) 賛助会員 0円(当面の間)

年会費 正会員 3,000円 学生正会員 1,000円 賛助会員 6,000円



スタッフの小噺

コばなし

エコサポーターズ研修いかがでしたか？
世界レベルから個人レベルまで幅広い内
容で大変でしたね。でも、温暖化の全体像が
わかりやすかったかと思います。
頭はクールに、心はホットに活動しましょ
う！(きしもと)

わが家に内窓を付けました！外が寒くても
窓の近くでも暖かいし、結露が出ないので、
お薦め(^^)。詳しくは、またニュースレター
で。(かわの)

環境大学1年生の江部です。私は、
エコドライブや近くに出かける
ときは自転車やバイクを使う
ように心がけています。しかし
冬はやはり車を使うことが多い
です。そこで一度近くのコンビニ
までクリップだけで行こうと挑戦
したことがあります。しかし途中
で後続車が来てしまい失敗に
終わりました。これから晴れの
日が多くなるので自転車利用を
心がけていきたいです。(えべつ
ち)

私は学校に通うときはいつも自
転車がスクールバス通学です。
自転車だとCO2削減や健康によ
いなど様々な利益があります！
温暖化と笑満の両方を防止でき
ます。(笑)
(環境大1年生 高橋直子)

1年生の渡
部です。地
球環境を考
える会とい
うサークル
に入ってエ
コの大切を
知りました。
紙を冷蔵庫
の中につけ
て上から吊
るしたり、ド
アを開けて
もすぐしめ
たり冷気を
逃がさない
ように心が
けています。
アイドリング
ストップ推
進中！

ひも付き(電線のことか?)の生活から脱出しようと、数
年前から薪ストーブライフを送っています。今年は、「薪
割り同好会(正式名称:アウトドア系バイオマス燃料推
進委員会)」を立ち上げようと思っていますので、ユー
ザーの方、興味のある方、興味がなくても薪割りです
っきりしたい方、剣道の素振りが趣味の方、焚き火好き
の方、里山とエネルギー安全保障の関係に興味のある方、
冬暖かい家がいい方は、山本まで♪

一人暮らしを始めた頃、ベランダでピーマン
を育てました。初めはすくすく育ち収穫する
のが楽しみでした。しかし、ある朝見てみる
とアブラムシだらけ。殺虫剤を使い野菜を守
りましたが、手遅れで虫喰だらけに。結局食
べる部分はほとんどなく悲しい夏でした。ま
た、挑戦したいので、誰か対策を教えてください。
(環境大2年生 井上)

お風呂の窓にシャ
ワーカーテンを付
けました。浴室の
温度が暖かくなり
快適です。沸かし
直しもほとんどな
くなりました。家族
みんなが風邪を
ひかなくなりました。
おススメしま
す！
(高橋 美香)

こんにちは！自称
「TUES(鳥取環境大
学)地球環境を考
える会」のアイデアマン3
年生の木下翔太です。
鳥取県の地球温暖化
防止活動が盛り上げ
ようユニークなアイ
デアをドンドン提案し
ていきます。よろしく
お願いします！
(きのピー)

大震災でダメージを受けた原発の復旧
状態が心配でおろおろしています。「地
震・カミナリ・火事・おやじ」が「地震・津
波・原子力」となり、世に「おやじ」の影
がますます薄くなってきたことにも、さみ
しさを感じています。
一日も早く平穏な日々が戻ることを願
っています。(おやじ)

お願い:取り上げてほしいテーマや感想、サポーターズの皆さまへのお知
らせなどがありましたら、事務局までとしお寄せ下さい！メールアドレス等
は、下記をご参照ください。ファックスは、4月に設置予定です。

鳥取県地球温暖化防止活動推進センター通信(季刊)

「TCCCA(トッカ)ニュースレター」(平成23年創刊号 3月発行)

発行:鳥取県地球温暖化防止活動推進センター

(特定非営利活動法人 ECOフューチャーとっとり)

〒689-1111 鳥取県鳥取市若葉台北1-1-1鳥取環境大学内

TEL: 090-7505-8693

URL: <http://ecoft.org/> E-mail: eco.f.tottori@gmail.com

編集: 長毅 高橋美香 山本ルリコ

事務局へご連絡ください。
電話 090-7505-8693